

## 引きこもりからの再出発

家庭問題情報センター 竹前 ルリ

問題を抱えたご本人に一度も会わずに、身内からの相談だけで問題が解決することも時々あります。

五年前、息子・徹也君の暴力で困っていると、お父さんの義人さんが相談室に飛び込んでくれました。五十回を超える面談中、徹也君は一度も来室しませんでした。それでも今日、「この就職難のご時勢に、就職できた」と、義人さんがうれしい報告にいらつしやいました。

**義（義人）** こんな日が来るとは想像したこと  
もありませんでした。

小さな会社ですが、徹也が自分で応募して採用されたのです。報告があったとき、私は耳を疑いましたよ。

**力（カウンセラー）** すごいですね、おめでとうございます。

五年前はおろか、去年の今頃だって、就職なんて考えられませんでしたね。

**義** 大学を卒業して就職したものの、息子はたった一か月で挫折してしまい、部屋に引きこもったきりになりました。

声をかけると、大声でわめきたてる。何とか病院に連れて行けば、精神病の疑いありと言われ、目の前が真っ暗になりました。

**力** ほんとうに大変でしたね。奥様はその二年前くらいに亡くなられて、息子さんと二人きりの生活でしたものね。

**義** 私は当時、息子は精神病だと思い込んで

いましたから、入院させることばかり考えていました。こちらで、強制入院させる方法を教わるつもりだったのです。

そのとき、息子の様子を聞いた先生が、息子が私を標的にする以外は、礼儀正しく人に接しているし、外出もできる、狭い範囲ながら社会生活ができていますので、病気とは思えないと言われました。私は半信半疑でしたが、うれしかったのを憶えています。でもそれから大変でした。

**力** 息子さんの暴力は、お父さんに自分の気持ちに気付いて欲しいという強い欲求の現われでしたが、お父さんにとっては、なぜ「お前のせいで俺の人生が駄目になった」などと言われなければならぬのか、理解できなかったですよ。

**義** ええ、当時の私は息子の気持ちをまったく理解できませんでした。

**力** 私は暴力がエスカレートするのが心配でした。怒った弾みに何が起きるかわかりませんから。

そこで、暴力が始まったら、家から逃げないように、そして、気持ちが悪くなった頃家に戻って、普通に接するようにとお話しましたね。

**義** 私には理解できない指示でした。

私は何も悪いことをしていないのに、息子をそんなにのさばらせていいのかと、先

生を疑いましたね(笑)。

**力** 私は義人さんをお気の毒に思いました。父親の権威がほろほろでしたもの。

子どもは親に対して過去のことで恨みを抱いているとしても、傷つきたいと思っ

ているわけではなく、分かって欲しいという切実な思いで体当たりしているのです。甘えて

いるわけで、もし親を傷ついたりすると、子どもがいちばん深く傷ついてしまいます。だから、怪我だけは絶対に避けなければなりません。

**義** 私は衝突を避け、息子の話を聞いていくうちに、息子は私を脅すのが目的ではなく、言い分を私に認めて欲しいのだと、少しずつ気付きました。

**力** でも、要求が増えて大変でしたね。小遣いの他に、ガソリン代、車の修理、新しいテレビと、金額が半端じゃありません。

**義** 息子は私をケチだと思っていて、わざと大金を要求して、困らせるようなことをしました。先生はなるべく要求を満たし、

払えないときはこれだけなら出せるけど、それ以上は出せない、きちんと断るよう

と言われました。恐かったのですが、そう言うと、息子は納得しましたね。

**力** お金が目的ではないからです。自分の気持ち

いるのです。

だから、何でも言うことを聞いてしまうと、恐がられているだけで、愛されていないのだと思い、逆に傷つくのです。そうか

と言って、要求をまったく拒絶すると、親から見捨てられたと恨みを抱きます。**義** 恐いですね。今、私の関係している親の

会で、よく話題になるのですが、愛情の代

わりに金品をねだるから、話がややこしくなるのですよね。**力** その通りです。同じような苦しみを抱えた

方たちのグループに参加されて、皆さんを助けてリーダーシップを発揮されたことはすばらしいことでした。

そのことが徹也君に良い影響を与えましたね。**義** そうでしょうか。自分の苦しみを聞いて

もらうために参加してただけで、徹也には一言も伝えていないのですが。**力** 義人さんの真剣な思いが伝わったので

す。苦しい中、あきらめることなく徹也君に向き合ったお父さんの愛情と忍耐が徹也君をあそこまで変えたのです。**義** いや、この一件で、私は自分の間違いに

気付き、子どもたちに悪かったなあと反省しました。そうそう、息子のことでは嫁に行った娘にもずいぶん助けられました。

**力** そうでしたね。ほんとうにお嬢さんには大いに助けていただきました。

徹也君には、お母さん役になる人が必要でした。彼を受け容れ、優しく包み込むような母親の役割をお父さんが兼ねることは無理です。遠くからメールや電話で徹也君の不満を聴いて慰め、優しく励ましていたお嬢さんは、お父さんと息子さんの良い緩衝役でしたね。

**義** 私は、息子だけでなく、娘にまで責められてときどき頭にきましたけどね(笑)。娘が徹也に味方したので、徹也が元気になったのは認めます。

娘は徹也のことを以前より気にかけるようになり、徹也もお姉ちゃんと仲良くなつて、娘が久しぶりに里帰りしたとき、三人で食事したりして、すっかり良い家族になりました。

まだまだ問題は出てくるでしょうが、家族で助け合えば乗り越えられ

ると思います。長いことお世話になり、ありがとうございます。**義** 義人さんはうれしそうに

をして帰りました。カウンセラーは徹也君に一度会って見たかっ